

### 第3分科会:教育研究の発展を支える新たな情報環境を考える

担当委員	青山敦史（東洋大学）、小野浩樹（日本大学）、志田紀子（東海大学）、中芝義之（関西大学）、東川昌之（立正大学）
趣旨	<p>教育研究ニーズの多様化、コスト削減、災害対策、省エネルギー、セキュリティ……。これら複合する諸課題に応えるために情報基盤の再構築に取り組む大学が増えている。例えば、クラウドによってトータルコストを削減し、運用業務の効率化と利用者サービスの向上を追求する取組。あるいは、サーバの仮想化によって各研究室に散在するサーバを集約し、研究ニーズに迅速に応えるとともに重要な情報資産を守る取組。あるいは、無償のオープンソースを利用して教育の質的転換を促す学修管理システムを構築する取組などである。</p> <p>本分科会では、情報基盤構築の先駆事例に学び、厳しい財政状況の下で教育研究の発展を支える情報環境とはどうあるべきか、その未来像を考える。そして、これからの情報システム部門の職員に求められる役割や能力とは何かを探求する。</p>
討議テーマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報環境の再構築（クラウドや仮想化、オープンソースなどを導入する意義と課題）</li> <li>2. 情報資産の保護（サイバー攻撃への対応、情報漏洩対策、災害対策等）</li> <li>3. これからの情報システム部門の役割と求められる職員像</li> </ol>
獲得目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育研究の発展を支える新たな情報基盤の技術的動向、利点と課題を知る</li> <li>・ 業務システムの構築、運用を担う職員の未来像について考えるきっかけを得る</li> </ul>
事例紹介	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関西大学教育研究システムについて～クラウド化への対応～ 中芝義之氏（関西大学学術情報事務局システム管理課長）</li> <li>2. 職員像を意識した事務業務システム基盤の構築 青山敦史氏（東洋大学情報システム部情報システム課長）</li> </ol>
全体進行	<p>10:45～10:50 オリエンテーション（進行概要説明）</p> <p>10:50～11:00 グループ内自己紹介・役割決め</p> <p>11:00～11:20 事例紹介 1</p> <p>11:20～11:30 質疑応答／意見交換</p> <p>11:30～11:50 事例紹介 2</p> <p>11:50～12:00 質疑応答／意見交換</p> <p>12:00～13:00 昼食</p> <p>13:00～16:00 グループ討議（事例に基づき）</p> <p>※事例紹介 1、2 から下記の点を討議する。休憩等については、グループ毎に適宜とる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報基盤の導入・再構築に伴うメリット・デメリットについて</li> <li>・ 情報システム部門及びそこに携わる職員の役割の変化について</li> </ul> <p>16:00～16:50 グループ相互発表</p> <p>16:50～17:00 運営委員によるまとめ／全体アンケート記入</p>
事前研修	<p>メーリングリストを利用して下記の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己紹介を兼ねて、業務における課題などを記述</li> <li>・ 氏名、大学名、所属（役職を含む）</li> <li>・ 担当業務の内容、在職年数および現所属在職年数</li> <li>・ 参加の目的</li> <li>・ 自大学が抱える課題</li> <li>・ 自学における ICT の今後の計画など</li> </ul>
事後研修	<p>メーリングリストを利用して下記の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己評価シートを 10 日後（12/21）までにメーリングにて提出</li> <li>・ グループ発表の内容を総括したレポートをグループ毎に 10 日後（12/21）までにメーリングにて提出</li> </ul>